

痛い病気・痛くない病気(1)

副院長・総合診療科 荻澤 融司

病気には痛い病気と痛くない病気があります。皆様の健康管理の参考にしていただければと考え、総合診療科で診察する機会の多い「痛い病気・痛くない病気」をまとめてみました。



薬剤科からのお願い

お薬手帳は、現在服用されているお薬を確実に確認するための、便利なツールの一つです。病院受診時には、お薬手帳の持参をお願いします。



高血圧について



高血圧は気づいたそのあとが重要です。まあこんなものかなと思い放置していると大病が静かに近づいてきます。その他にも腎臓病や認知症発生などを高めるとされており、積極的な治療が必要です。

マンモグラフィと乳腺エコー検査

マンモグラフィと乳腺エコー検査を併用することは乳がん検出の感度を上げ、早期の乳がん検出率が上がることとなります。



口から食べたい

歯科衛生士は、口腔ケアだけではなく、口腔機能向上に関わり口腔をとおして、生活の質の向上を目指しています。食べることは、生きる喜びの一つです。嚥下機能低下による、誤嚥性肺炎を起こし入院すると『禁食』になり点滴治療をします。



目と栄養!

疲れ目の緩和に必要とされている栄養素はビタミン類やポリフェノール類、DHA・EPA など様々あります。今回はその中からビタミン A とアントシアニンについてご紹介します。

部門紹介 ～ 外来看護師 ～・研究会

■当院の15名の外来看護師は皆、仕事と家庭を両立して看護業務に従事しております。これまでの経験を生かし、患者様に優しく親身になって対応することを大切に、これからも継続して看護の質とサービスの向上に努めてまいります。



■2019年2月21日～22日、回復期リハビリテーション病棟協会「第33回研究会 in 舞浜・千葉」が開催されました。